

一般社団法人奈良県鍼灸マッサージ師会

県師会会報

編集：総務部 発行：（一社）奈良県鍼灸マッサージ師会

INDEX

- ・会長挨拶……………1
- ・「県民公開講座」開催……………2
- ・いきいき健康支援事業アンケート結果と考察……………3・4
- ・令和5年度生涯研修のご案内……………5
- ・令和5年度通常総会のご案内……………6
- ・会費について……………6
- ・免許保有者証申請について……………6
- ・医療廃棄物収集について……………6
- ・令和4年度会員動態……………7
- ・編集後記……………7

令和5年度（2023年度）にあたって

（一社）奈良県鍼灸マッサージ師会会長 西島登貴子



前喜多嶋毅会長から急遽バトンタッチすることになり、半年が過ぎようとしています。本会はこの間、奈良マラソンケアボランティアへの参加や講師お二人をお招きしての県民公開講座などビックイベントもあり、担当の先生方には、お忙しい中奔走して頂きました。

今年度も、従来 of 行事を踏襲しながらも、新たな取り組みもしていきたいと思ひます。また高齢化する会員の減少についても、新たな会員仲間を増やす為にも役員全員で考えています。

その一つとして、興味を持って頂けるホームページも刷新していきたいと検討しているところだす。

新型コロナウイルス蔓延に対しても、我々のあんま・マッサージ・指圧、はり、きゅうは利用者様の健康の維持・増進、心身の調整等に寄与するものではありませんが、一方では接客業でもあり、感染防止の観点から身体接触を嫌う傾向となり、多くの施術者が被害を被っていると感じておりましたが、ようやく厚労省の通達により、2類感染症から5類感染症に引き下げられることとなりました。

医療従事者としては、引き続きの衛生管理、マスク使用等は必須条件ではありませんが、社会の活動が活発になる事は喜ばしいことだあります。

本年度も皆様のご指導ご鞭撻そしてご協力をお願い致します。



「県民公開講座」ハイブリッド開催

【木村公一先生の講演風景】



令和5年2月26日(日)、奈良県社会福祉総合センター5F 研修室Cにて、(一社)奈良県鍼灸マッサージ師会(以下本会という)主催による「県民公開講座」を午後1時より開催いたしました。コロナ禍以降、昨年度まではZoomによるオンラインで行っていましたが、本年度は対面形式とZoomによるオンライン形式のいわゆるハイブリッド形式で行いました。今回は、京都市山科区から講師として木村公一(きむらこういち)先生、また大和郡山市から小松諭(こまつさとる)先生のお二方を講師としてお招きし、ご講演を行っていただきました。

まず、第一部は「転ばぬ先の脚づくり」と題しまして、木村先生にご講演を行っていただきました。木村先生はご自宅で「マッサージきむら健公庵」を営む傍ら、全国に出向いて健康づくりの指導や講演活動、プロのスポーツ選手のトレーナーとして積極的に活動を行っておられます。また、ご自身でも陸上競技のマスターズ大会に出られたりするなど、自身の健康体力づくりにも精力的に励んでおられます。

講演の前半は日常生活をしていく上での注意点やご自身の体験談、健康的な生活を送るためにはどうすれば良いのかなど、ユーモアをたっぷり交えながらお話しいたいただき、後半には実技としまして自宅でできる下肢の運動方法を実演しながらご指導していただき、身体のためになることをたくさん教えていただきました。

第二部は「浮腫と鍼灸マッサージ」と題しまして、小松先生にご講演を行っていただきました。小松先生は、大和郡山市で「通所介護デイサービス白馬」を営んでおられます。講演の前半は、浮腫とはどのようなものなのかを教えていただき、後半は浮腫の改善するにはどうすれば良いのか、実際に職場でいつも行っていることを実演して教えていただき、大変参考になることをお話しして下さりました。

第一部が午後1時から始まり、第二部の終了が午後4時10分でしたが、あっという間に時間が過ぎ去り、お二人の先生方のお話をもっと聞きたいと思うほど、とても有意義な内容のご講演でありましたし、参加者の方々も皆先生たちのお話真剣に聞き入っておられる様子でした。



【小松諭先生の講演風景】

いきいき健康支援事業アンケート結果と考察

喜多嶋毅前会長が推進されておられました『いきいき健康支援事業』についてのアンケートを行いました。『いきいき健康支援事業』とは当会と各企業団体との連携をはかって福利厚生事業を提供していく協定のことです。

『いきいき健康支援事業』を立ち上げてから約3年程経過しました。各会員の先生方からの色々なご意見を賜りまして、一度『いきいき健康支援事業』の見直しを図るべく意識調査を行った方が良いのではないかと役員の理事会で取り上げられました。そこでアンケート調査を行うことになりました。アンケートの結果は以下の通りです。

いきいき健康支援事業 アンケート結果 (36人 / 81人)が回答

質問 1:あなたは『いきいき健康支援事業』をご存知ですか？

1.はい(35) 2.いいえ(1)



質問 2:あなたの院は『いきいき健康支援事業』に参加されていますか？

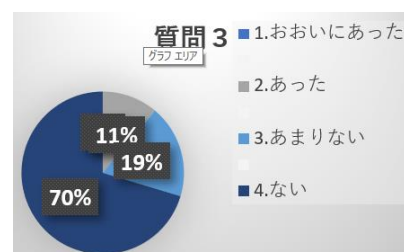
1.はい(27) 2.いいえ(9)



質問 3:上記「質問 2」で「はい」と答えた方に質問します。

『いきいき健康支援事業』に参加する事で来院数が増えるなどのメリットはありましたか？

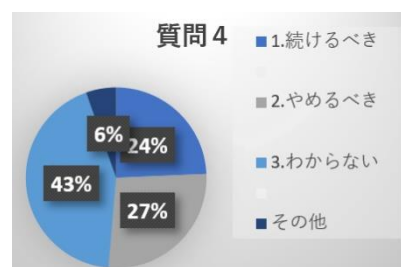
1.おおいにあった(0) 2.あった(3)
3.あまりない(5) 4.ない(19)



質問 4:『いきいき健康支援事業』は本会の予算を団体への 広告費等で現在までに 10 万円以上を使い、

今後も必要になる可能性があります。この事業をこれからも続けるべきでしょうか？

1.続けるべき(9) 2.やめるべき(10)
3.わからない(16) 4.その他(2)



様々なご意見を頂戴致しました。一部紹介します。

- ・「広告費がかからないなら続けるべき。毎年、膨大な広告費がかかるならやめるべき。広告掲載方法や費用等、存在感が出せるベストな案を検討し、コストに見合えば継続可。」
- ・「すぐに結果が出るものではありません。」
- ・「週1回家族4人分 週マイナス 4,000 円です。補填してほしい。」
- ・「奈良市総合財団勤労者福祉サービスセンター「うえるびい奈良」協定を検索してはいかがでしょうか？」
- ・「当会 HP を新しく作り変えるべき。古臭い、見にくい、暗い。」
- ・「市場拡大のため、尽力していただいた喜多嶋先生の事業を引き継ぎたいです。ネットになっている広告費を検討して下さい。参加施術者の存在を広くアピール出来るように上層部と直接話し合ってみて下さい。参加施術所を増やしていけるようにメリットがほしいです。」
- ・「継続して膨大な費用がかかるならメリットがなければやめたほうがいいが、広告費等が低く抑えることが出来るならいいと思う。」

総括すると、広告費を極力抑えることが出来るのなら継続するべきとの意見に集約されていくと思います。無論、退会者が年々出て年会費の収入が減っている現状において、広告費の拠出は不可能なわけであり、しかも連携している協定団体の相手方がおられるわけで、辞めるわけにもいかないというわけです。すなわち、自ずと取るべき手段は、経費を掛けずに『いきいき健康支援事業』は継続していくという活動にならざるを得ません。

ある方のアンケート回答では、「私の所はいきいき健康支援事業に参加しても全く売上げが上がらない」と意見を寄せられ「いきいき健康支援事業は絶対に継続するべし」と仰る会員の先生もおられました。この方はいったいどういう信条なのか個別で窺いたいのですが、少し、考え方を変えていかなければならない時代に来ていると思います。

この事業は、会員が福利厚生費を拠出するという、厳しい事業です。

インフレの時代にキャンペーンを繰り出していくこの事業は『三方よし』ではない事業です。

『三方よし』とは、近江商人が考える良い経営のことで、

- ・「売り手、よし」
- ・「買い手、よし」
- ・「世間、よし」

といった、ニーズに対してサービスを提供できるコンセプトにするという基本的な経営法です。

インフレの中、『いきいき健康支援事業』は『三方よし』でしょうか。

- ・「売り手、悪し」
- ・「買い手、よし」
- ・「世間、よくわからない」

おそらく、会員の先生方の施術のメニュー表を見直さなければいけないのかと思います。

デフレの時代ならまだしも、生前に喜多嶋前会長と、もう少しこの事業のあり方を伺っておくべきでした。

＝2023 年度生涯研修のご案内＝

5月7日(日) 13:30～15:30	ZOOM形式 卒後鍼灸手技研究会「自然免疫と腸活について」	単位 2
7月2日(日) 13:30～15:30	ZOOM形式 卒後鍼灸手技研究会「耳鳴りに対する鍼治療・圧刺激と切皮置鍼刺激を用いた耳鳴り反応点の治療法」	単位 2
9月3日(日) 13:30～15:30	ZOOM形式 卒後鍼灸手技研究会「アレルギー疾患に対する鍼灸治療の実際」	単位 2
10月22日(日)	壺阪寺マッサージ 奉仕施術	単位 8
11月5日(日) 13:30～15:30	ZOOM形式 卒後鍼灸手技研究会「肩関節障害に対する鍼・マッサージ治療」	単位 2
12月10日(日)	奈良マラソン 奉仕施術	単位 5
2月4日(日) 13:30～15:30	ZOOM形式 卒後鍼灸手技「冷え性の診かたと効果的な鍼灸治療について」	単位 2
2月25日(日)	県民公開 「鍼灸マッサージについて」(未定)	単位 4

【卒後鍼灸手技研究会】

目的：「あはき師養成学校を卒業した方々に生涯研修の場を提供し現代社会に対応できる質の高い鍼灸・あんまマッサージ師の育成に貢献」

参加費：1) 年会費(年会費)一括払い①一般 8000 円②学生 4000 円③賛助会員 6000 円
2) 1 回ごとに参加の場合・単回参加①一般 4000 円/回②学生 2000 円/回
③賛助会員 3000 円/回

参加申込み <https://sotsugokannsai.web.fc2.com/>
090-2289-5318 河井正隆

- ※ 一年を通してこのような生涯研修を行っており、単位数 25 単位以上取得した場合「研修終了証書」の交付を受けることができます。
- ※ 卒後研修にあたっては、喜多嶋前会長が御賛助された為、奈良県鍼灸マッサージ師会会員は賛助会員料金で受けることができます。是非この機会に研修を受けられ資質の向上と社会的評価を高める為、ご参加戴きたいと思っております。
- ※ 受付方法：壺阪寺マッサージや奈良マラソン施術、県民公開講座参加は奈良県鍼灸マッサージ師会事務所(0742-26-7829)へのご連絡を。卒後鍼灸手技研究会に関しましては、上記参加申込みをご参考のうえ、御連絡下さいますよう宜しくお願い致します。



令和5年度通常総会のお知らせ

令和5年度通常総会は以下の通り決まりましたので、概要をご案内致します。

総会資料は別紙にて、送付しご案内させていただきます。

※コロナも下火ではありますが、昼食は出さない予定です。密にならない為に出来るだけ委任状でも対応したいと思いますので、必ず委任状を提出してください。

1. 日時

令和5年6月4日(日)午前10時～

2. 場所

奈良県社会福祉総合センター3階第2会議室(近鉄畝傍御陵前)

会場へは公共交通機関をご利用の上、お越してください。

3. 議題

- ① 令和4年度(2022年度)事業報告・決算報告ならびに監査報告承認の件
- ② 令和5年度(2023年)事業計画・予算報告承認の件
- ③ 役員改選
- ④ その他

大切な事務連絡

◇ 会費について

【財務担当】

全鍼師会会員の先生には5月頃に送付させていただきます。

本会会費は7月頃に振込用紙を送付させていただきます。

会員各位のご協力を宜しくお願いします。

◇ 免許保有者証の申請について

【総務担当】

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の年1回の申請が7月1日から開始されます。

5年で更新の先生には、県師会よりご案内させていただきます。また、新たに申請される先生は、県師会事務所までご一報ください。

医療廃棄物収集について

本会では、毎年2回使用鍼等の医療廃棄物の収集を行っています。今年も以下の日程で行いますので、事務所まで御持参ください。

第1回目 6月1日(木)～6月9日(金)

第2回目 12月1日(金)～11日(月)

いずれも、平日午前9時～午後2時30分受付(なお、事務所を留守にすることもありますので、事前に事務所に必ず電話ください。)

対象は会員の外、会員外も対象となります。会員外の場合、500グラム以下500円、500グラム～1キログラムが千円いただくこととなります。会員外の方が利用される場合も、その旨、事前に事務所に御連絡ください。廃鍼はピンまたは350ミリリットル前後のペットボトルに密封して、その他の医療廃棄物(綿花、手袋等)はナイロン袋に入れ、しばって持参してください。

令和4年度会員動態（令和5年3月31日現在）（敬称略）

◇ 会員数 73名

◇ 入会者（1名）

きたむら まゆこ
北村 真祐子

◇ 退会者（8名）

にしむら やすひさ
西村 育寿

きたしま つよし
喜多嶋 毅

つつみ しょうたろう
堤 小太郎

りん ユーチャン
林 玉展

しるもと よしのり
城本 佳則

いわき まさる
岩城 勝

さかくち かつひこ
阪口 勝彦

たにもと ゆきみ
谷本 幸美

編集後記

新型コロナの影響も落ち着いてきたのでしょうか
全国各地の観光地は観光客で溢れています
特に、外国の方々が熊野古道など日本の歴史を感じられる
所をウォーキングされるようです
飛鳥・藤原京も素敵なウォーキングコースですよ
毎日笑顔で過ごしましょう

(T. N.)



一般社団法人奈良県鍼灸マッサージ師協会

〒630-8344 奈良市東城戸町 46 番地 なら漢方ハイツ 1F

電話/Fax 共 0742-26-7829

メール j29pref_kensikai_8@wit.ocn.ne.jp

URL <http://www10.ocn.ne.jp/~narahari/mm/>